

環境負荷削減・農業経営安定を目指す

作物流通管理システムと数理モデル

蓮池隆
大阪大学

日本の農家を取り巻く環境は、作物流通のグローバル化、消費者の食の安全に対する関心の増加などにより、複雑になっている。また環境負荷の面からも、作物の無駄な生産は好ましくない。さらに、収益の安定性を確保しなければ、農業のなり手が減少し、日本の農業の持続的発展が見込めなくなる。このような状況を情報管理システム、作物流通過程の改善、および数理モデルからの客観的評価・検証の立場から、多角的に考察する。